

特集

知って得する健康講座

第33集 「ムカデ咬傷」

山都町立蘇陽病院 副院長 大城 一

今回はムカデ咬傷についてのお話です。
暖かくなってくると、ムカデによる咬傷の患者様が増えてきます。私自身も市内の大学病院に勤務している時にムカデに咬まれ、非常に痛い思いをしました。それまでは、2、3回しか見かけたことはありませんでしたが、こちらに赴任してからは年に5、6匹は病院官舎の中や病院内で遭遇しています。今年の6月にも睡眠中天井から自分の顔の上にムカデが落ちてくるという、大悲劇に見舞われましたが、幸いにも即座に払いのけ、顔を咬まれてしまうという悲惨な事態は免れました。



トビズムカデ

青いムカデより赤いムカデのほうが毒が強い、と耳にすることがあります。いろいろとムカデの種類について調べてみましたが、ムカデの種類によって毒の強さに差があるかどうか、という報告は見当たりませんでした。日本にはトビズムカデ、アオズムカデ、タイワンオオムカデの3種が生息しているようですが、人を咬むのはトビズムカデ、アオズムカデのみだそうです。報告例ではトビズムカデによる咬傷が最も多いとされていますが、山都町内で私が発見した限りでは、アオズムカデが明らかに多いと思います。これは、地域により種類の差があるのかもしれませんが。

(症状)

一般的には、2箇所出血点を伴い、痛み、熱感、腫れなどを認めますが、ヒトに致命傷を与えるような毒量ではないと言われています。ただ、腫れて赤くなった部分が潰瘍化したり、まれに蜂アレルギーのある方や反復して咬まれた方などはアレルギー性ショック（血圧が80以下になる）を来すことがありますので、早めに病院を受診してください。

(治療)

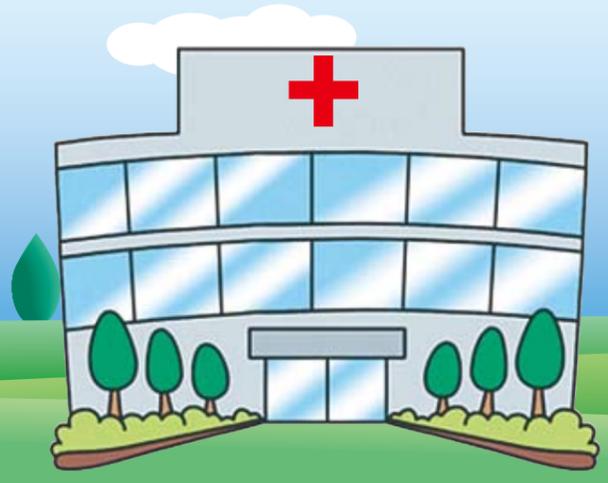
対症療法が主体となります。すなわち、痛みに対する鎮痛剤、熱感や腫れに対しては、抗アレルギー剤、ステロイド軟膏などが基本となります。一般的にはそれで治癒しますが、頸部、顔面を咬まれた場合や、蜂アレルギーの方は再度病院を受診することをお勧めします。

(最後に)

昔から「ムカデには尿が効く」という話もあるようですが、現代の医学では全く根拠はありません。なんとと言っても、ムカデの家屋への侵入を防ぐことが一番です。網戸を備えたり、ムカデ用殺虫剤を建物の周りに散布したりして気をつけましょう。

(番外編)

ムカデのことをインターネットなどで調べていると、かなり効果のあるという治療法を目にしました。これは、学会や医学書で認められているものではありませんので、責任を持って書くことはできません。興味のある方は、ムカデ、温熱療法で検索してみてください。（自分で咬まれた場合、実験してみようかと思っています。）



蘇陽病院だより

～蘇陽病院基本理念～

「へき地医療拠点病院として、患者様に信頼される良質な医療を提供し、地域住民に親しまれる病院を目指します。」

特集

もっと知りたいクスリの話

第5集 水虫のクスリについて



山都町立蘇陽病院 薬剤科 奥村真利子
水本知恵子
奥村 千春
監修 院長 水本 誠一

いよいよ本格的な夏がやってきました。
この時期、盛んに活動を始めるのが、温度が高く湿度が大好きな水虫です。
今回は、水虫（白癬菌とよばれる菌が原因です）のクスリについてお話します。
水虫のクスリには、ぬり薬とのみ薬があり、水虫の種類や症状によって使い分けされています。

ぬり薬

クリーム剤、液剤（ローション剤）、軟膏剤などがあり、患者さんの症状や、使い勝手によって処方されます。

クリーム剤	乾燥した症状の時に使用します。皮膚によくしみとおり、ぬり薬の中でよく使われる薬です。
液剤（ローション剤）	乾きやすいのが特徴ですが、刺激があるので、ただれや傷がある場合には適しません。
軟膏剤	ぬった時にベトベトしますが、刺激が少ないので、ただれや傷がある場合にも使えます。

のみ薬

爪白癬などのような、爪の中や患部までぬり薬がよくしみとおらない場合に処方されます。

薬の飲み合わせによって、薬の効き目が弱くなったり強くなったりすることがありますので他の病院にかかる場合は、薬を飲んでいることを医師に伝えてください。

※ 服用上の注意点

まだ、水虫がひそんでいることがありますので、かゆみ等の症状などがなくなったからといって、自己判断でやめないようにしてください。医師の指示にしたがって根気よく治療することが大切です。

お薬 ひとつ

症状のある部分以外にも、水虫がひそんでいる場合がありますので、広めに塗りましょう。

